



令和元年12月19日(木)岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
医療福祉連携推進課	障がい児者医療推進係	上野・清生	内線 2628 直通 058-272-8279 FAX 058-278-2871

## 「第6回東海三県小児在宅医療研究会」を開催します (参加者募集)

医療的ケアを要する重度障がい児者が年々増加し、その多くが在宅生活を送っています。東海三県(愛知・岐阜・三重)では、小児在宅医療の充実を目指し、その支援に携わる医療、看護、福祉、教育、行政等の関係者が一堂に会し、それぞれの地域における多様な取り組みの共有を図り、相互に連携交流ができる関係づくりを目的に、三県共催による「東海三県小児在宅医療研究会」を開催しています。第6回目となる今回は、愛知県名古屋市で開催します。

### 記

- 日時** 令和2年2月9日(日) 13:00~17:15 (開場12:00)
- 場所** ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)大ホール  
愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
- テーマ** 「小児在宅のこれから、新しい潮流」
- 内容(プログラム)**
  - 開会あいさつ
  - 基調講演1  
演題:「小児在宅医療の10年、これからの歩むべき道」  
講師: まえだ ひろし 前田 浩利 医療法人財団はるたか会 理事長  
座長: みうら きよくに 三浦 清邦 愛知県医療療育総合センター中央病院 副院長兼在宅医療支援部長
  - 基調講演2  
演題:「拠点施設の役割と今後の課題」  
講師: よしだ ふとし 吉田 太 愛知県医療療育総合センター 副総長兼中央病院長  
座長: なつめ じゅん 夏目 淳 名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学寄附講座 教授
  - シンポジウム「小児在宅医療の新しい取り組み」  
座長: にしむら さとこ 西村 悟子 岐阜大学大学院医学系研究科障がい児者医療学寄附講座 特任准教授  
いわもと しょうたろう 岩本 彰太郎 三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター長  
みずの みほこ 水野 美穂子 社会医療法人宏潤会大同病院 副院長

- ・「障がいをもつ子どもの家族をエンパワーメントする相談支援～みらいの活動より～」  
市川百香里 岐阜県看護協会 重症心身障がい在宅支援センターみらい 家族支援専門看護師
  - ・「小児在宅医療における非小児科在宅医の役割」  
児玉 崇志 シティ・タワー診療所 医師
  - ・「子どもの持っている力を伸ばす支援を」  
真弓はるみ 鈴鹿市社会福祉協議会 第2療育センター 相談支援専門員・保育士
  - ・「子育てを通して思うこと～心からのスマイルを実現するために～」  
柘植 澄子、高村 純子 保護者、独立行政法人国立病院機構三重病院 医療社会事業専門職
  - ・「地域総合病院と連携した学校における医療的ケア実施体制の構築に向けて」  
神谷 建喜 刈谷市立刈谷特別支援学校 校長
  - ・「専門病院における小児在宅医療への取り組み」  
山田桂太郎 愛知県医療療育総合センター中央病院 小児神経科医師
- 総合討論
- 閉会あいさつ

5 参加料 無料

- 6 主催 岐阜県、三重県、愛知県、名古屋市、愛知県医療療育総合センター、  
名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座、  
岐阜大学大学院医学系研究科障がい児者医療学寄附講座、  
三重大学医学部附属病院小児トータルケアセンター

7 申込締切 令和2年1月31日（金）

- 8 申込方法 所定の参加申込書にご記入の上、FAX（0568-88-0964）にて事務局  
（愛知県医療療育総合センター 療育支援センター地域支援課）へお申込みください。  
・参加申込書は、県庁医療福祉連携推進課で配布または以下の県ホームページから  
もダウンロードできます。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/iryo/shogaisha-iryo/11230/0209toukai3ken6kaientry.html>